

心臓カテーテル治療における高画質と患者負担の軽減を追求した イメージングテクノロジー「SmartIQ Technology」を販売開始



株式会社フィリップス・ジャパン（本社：東京都港区、代表取締役社長：安部美佐子、以下フィリップス）は、心臓カテーテル治療向け血管撮影システム「Azurion」に搭載可能な新画像技術「SmartIQ Technology」を 7 月 14 日（火）より販売開始いたします。

日本国内では高齢化の進展に伴い心血管疾患が増加する一方、患者負担の軽減や医療従事者の業務効率化へのニーズが高まっています。低侵襲なカテーテル治療はますます重要な役割を担う中、病変の状態を適切に把握するための「高画質」と、被ばく線量・造影剤の使用量・手技時間を抑える、「負担軽減」の両立が急務とされています。

このたびフィリップスが発売する「SmartIQ Technology」は、主要な心血管センターとの共同開発から誕生した、リアルタイム画像アルゴリズムにより、複雑化する手技において高い画像品質を維持しながら、被ばく線量や造影剤使用量の低減を支援します。

【SmartQ Technology】の主な特長

1. 高画質を生み出す「Content-Aware imaging algorithm」
X線物理学の基本原則と臨床データを組み合わせた数理モデルを用いて、臨床的に重要な画像情報と背景ノイズをインテリジェントに分離します。
2. 透視レベルの線量で高画質を生み出す「Ultralow Dose プロトコル」
分離されたノイズを低減することにより、透視レベルのX線量であっても撮影画像のイメージクオリティを構築します。
3. 画質を維持する「Low Contrast プロトコル」
目的とする重要なコントラストを選択的に強調することで、低濃度造影剤の使用する場合においても画像品質の維持を支援します。
4. 画像情報の整合性に配慮した設計「SafeGuard」
画像処理済み画像とオリジナル画像を継続的に比較するシステムにより、診断や治療に関わる臨床情報の整合性を安全に維持するよう設計しています。
5. 臨床ニーズに応じて選択可能なプロトコル設計
ルーチン検査から複雑な冠動脈インターベンションまで、術者は目的、状況に応じて、ベッドサイトにて簡便に最適なプロトコルを選択することが可能です。また、既存の Azurion システムでも導入可能です。



今後の展示予定:

フィリップスでは、本技術の利便性をより多くの医療従事者の皆様へお伝えするため、2026 年度開催の CVIT 2026（日本心血管インターベンション治療学会）をはじめとする学会会場にて、SmartIQ を用いた画像等の展示を予定しております。

販売名：血管造影 X 線診断装置 Azurion

医療機器認証番号：228ACBZX00012000

設置管理医療機器／特定保守管理医療機器／管理医療機器

フィリップス・ジャパンについて

株式会社フィリップス・ジャパンは、ロイヤルフィリップスの日本法人として 1953 年に創業以来、革新的な技術を通じ、人々のより良い健康と満ち足りた生活の実現を目指しています。主な事業領域は、画像診断、超音波診断、イメージガイド下治療、生体情報モニタ、ヘルスインフォマティクス、睡眠・呼吸治療、およびパーソナルヘルスと多岐に渡ります。ヘルステクノロジーのリーディングカンパニーとして、超高齢化が進む日本の医療・健康課題解決に向け取り組んでいます。日本の従業員数は約 2,000 人、約 70 拠点でビジネスを展開しています。（<https://www.philips.co.jp>）

ロイヤルフィリップスについて

ロイヤルフィリップス（NYSE:PHG, AEX:PHI）は、革新的な技術を通じ、人々のより良い健康と満ち足りた生活の実現を目指す、ヘルステクノロジーのリーディングカンパニーです。

フィリップスの革新的技術は人々を中心に設計されています。先進的技術と医療従事者および消費者のインサイトを活用し、消費者にはパーソナルヘルスソリューションを、医療従事者とその患者様には病院や家庭でのプロフェッショナルヘルスソリューションを提供しています。

オランダに本社を置く当社は、画像診断、超音波診断、イメージガイド下治療、生体情報モニタ、ヘルスインフォマティクス、およびパーソナルヘルスの分野で世界をリードしています。フィリップスの 2025 年の売上高は 180 億ユーロ、全世界に約 64,800 人の従業員を擁し、世界 100 か国以上でビジネスを展開しています。フィリップスに関するニュースはこちらからご覧ください。

（<http://www.philips.com/newscenter/>）

医療機器および企業に関するお問い合わせ

株式会社フィリップス・ジャパン

コミュニケーション担当

press@philips.com